試料縮分器取扱説明書

粉粒体は移動や攪拌により，粒度，比重差に基づく分離，偏析がおこるため，粉粒体製品の試験を行なう時，試料の縮分を適切にしなければ信頼できる結果が得られません。本器はJIS M 8100 規格に基づくJIS規格品を改良し，使用しやすくした三輪式があります。 三輪式は，試料容器が4個付属し繰り返し縮分ができますので作業性が良く，また粉の滞留がないように工夫されております。

試料の粒度に応じて，二分器を選定してください。

JIS規格／二分器本体・試料受器2個
試料給鉱容器(チリトリ)

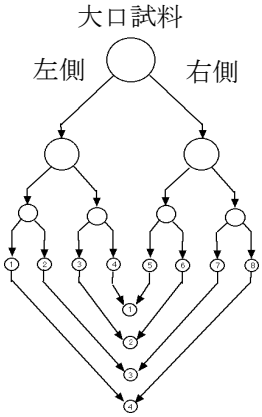
三輪式／二分器本体・試料容器4個

二分器の各部の寸法及び構造については
寸法表を参照ください。

粒度及び二分器の種類					
試料全量通過の粒度(mm)		二分器の	溝の幅	溝数	溝数
を超え	以下	種類	(mm)	JIS	三輪式
	2.80	6号	6±0.5	16	14
2.80	5.00	10号	10±0.5	16	14
5.00	10.0	20号	20±1	16	14
10.0	16.0	30号	30±1	12	14
16.0	22.4	50号	50±1	12	14

使用方法

1. 試料受器を本体の二分器出口から飛散しないようセットしてください。
2. 分割すべき試料を試料受器または，試料給鉱器(チリトリ)で粉体を取り出してください。
3. 試料を本体に均一に静かに落下させ，二分割にします。
   急激に注入しますと粉体量にバランスが生じ，分割精度が低下してしまいます。



左右相殺法

粉体の量と粒度に多少の偏りが存在してしまいます。左右相殺法をおこないますと，分割試料の重量配分の標準偏差がより均一になります。
分割操作を繰り返して①～⑧までの分割試料をつくり，①と⑧，②と⑦というように合わせて4つの分割試料をつくります。(右図参照)

ご注意

- スリットや受箱に付着している埃は落として使用してください。落ちない場合は水洗いしてください。
- 溝の目詰まりに十分注意してご使用ください。
- 錆が発生したものは使用しないでください。

筒井理化学器械株式会社
〒110-0003　東京都台東区根岸1-1-31
TEL：03-3845-2011　FAX：03-3842-5852